

大崎

SPARTANS



令和2年11月22日 第12号



令和2年度新人戦第一支部 大会 準優勝！！



決勝は都立駒場高校
と戦い56-49で惜
敗するも大健闘！2
年連続決勝進出！！

来る令和2年11月22日、世田谷学園で行われた新人戦第一支部大会決勝戦は、都立大崎高校 VS 都立駒場高校となり2年連続同じカードとなった。



決勝の1Qは、重い展開となり、駒場が0-8のランでスタート。開始4分まで点が取れず、相手のペースに。キャプテン#5の気迫あるプレーで徐々に大崎らしいディフェンスが出てきたことにより、1Qを12-12のタイに戻し終えた。しかし、2Qも相手のペースのまま試合は進み、シュートは放つも得点が決まらない。粘りのディフェンスで何とか食らいつづが、20-30と10点のリードを与え、前半を終えた。

後半に向け練習でやってきたことを信じ、シュートを打ち続けよう！と皆で確認し、点差を気にせず1Q5点ずつ返していくことを目標に立て直しを図った。

新チーム発足時から取り組んできたチームディフェンスは機能し、点は取れなくても、相手にも点を与えないしびれる展開に。すると徐々にアウトサイドシュートが入り始め、この3Qは3点詰め、37-44となり勝負の4Qを迎えます。4Qもお互いにディフェンスゲームで我慢が続く。しかし、のこり5分で3PTと#5のレイアップで47-48と1点差まで迫る。しかし、すぐに駒場#5のミドルシュートで47-50とされることから、得点がなかなか入らず、最後は49-56で惜しくも敗れた。

しかし、2年連続でこの舞台に立ち、試合に出る出ないにかかわらず、それぞれの役割を果たし、堂々と戦った全ての生徒たちは本当に誇りがあった。

準決勝 都立小山台高校 を76-54で破り、2年 連続支部大会決勝進出！

序盤は動きが固く、練習でやってきたディフェンスも発揮できず、1Q16-17とリードを許す。2Qは少しずつディフェンスでリズムを取り戻しつつあったが、相手のタフショットやアンラッキーなルーズボールもあり、思うような展開には持ち込めない。しかし、#4のプレーメイクもあり、36-33と逆転して、後半を迎える。

後半は、2Qからのディフェンスが徐々に相手に効いてきて、タフなショットに持ち込み、外したものをきっちりリバウンドをとるといふ本来の形が機能し、徐々に点差を広げていく。しかし好チームの小山台も積極的なオフェンスリバウンドへの飛び込みもあり、点差は大きく離れることはなく、最終盤へ。しかし、ディフェンスを緩めることなく、最後まで徹底でき、76-54で勝利を収めた。

決勝の相手は、2年連続で都立駒場高校との対戦となる。決勝までの道りは、決して楽なものではなく、むしろ厳しいものばかりであった。

コロナ禍の中で、開催された今大会に感謝し、また保護者の方々、学校の先生方、さらにはここまで戦ってきたチームに感謝し、その思いを胸に全力で決勝に臨みます。



戦況を見つめる選手たち

苦しい場面でシュート決める#4



新人戦 1回 戦からのゲーム レポートはこちら から。



http://www.osaki-h.metro.tokyo.jp/site/zen/page_0000000_00241.html